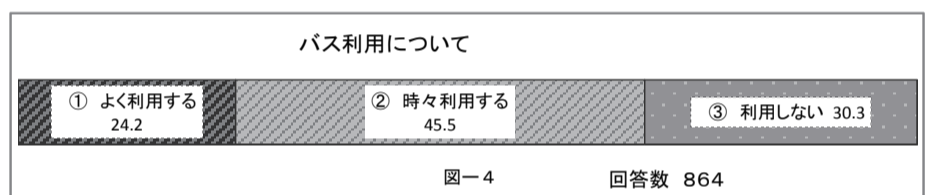
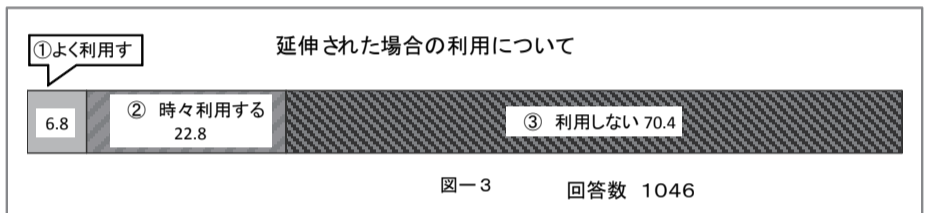
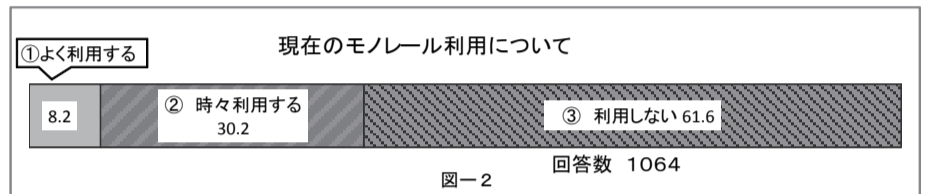


モノレールよりも バス交通の充実を

交通アンケート

昨年11月から本年3月にかけて、市内6区で交通アンケートを実施し、1,133人の方から貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

1. 現在のモノレールの利用について	%	① よく利用する 8.2	② 時々利用する 30.2	③ 利用しない 61.6	
2. 市立青葉病院までのモノレール延伸計画について	%	① 賛成 19.4	② 反対 51.7	③ どちらでもない 13.6	④ 計画を知らない 15.2
3. モノレールが延伸された場合のどの	%	① よく利用する 6.8	② 時々利用する 22.8	③ 利用しない 70.4	
4. バスの利用について	%	① よく利用する 24.2	② 時々利用する 45.5	③ 利用しない 30.3	



アンケートのねらいは、財政が困窮している現状をよそに、千葉市が総合交通ビジョンの中心にモノレール事業を位置づけ、県庁前から青葉病院まで2kmの延伸を計画していることについて、市民の率直な意見を聞くことでした。

モノレールの延伸計画について、反対は5割(図1)。また現在モノレールを利用していない人は6割でした(図2)。青葉病院まで延伸した場合、延伸部分を利用しない人は7割に達します(図3)。このことは「延伸したら利用者が増える」という市の主張とは相反しています。

一方、バス事業に関しては、「利用しない」という人は3割、そのうち半数は「目的に行く便がない、時間があてにならない、便数が少ない」という理由です(図4)。

延伸に176億円、年間維持費約4億円を投入するモノレールに対して、バス関連予算は年間約4千万円というのが千葉市の交通政策の現状です。やがて到来する超高齢社会を見据え、モノレール延伸よりもバス交通を支援して更に充実させる交通政策に転換を図るべきです。

緑区のバス事情を憂う声 高齢者には欠かせない交通手段



緑区のバス事情はどのようなようになっていくのでしょうか。寄せられたコメントでは、高齢者にとっては必要な乗り物ということでは共通の認識であることから、これからの社会にとっては欠かせない交通手段と考えられます。

ところが現状は、減便になって不便、JRとの連絡が悪い、料金が安い、そもそもルートが無いなどの声が多く寄せられました。また、少ないながらも駅までのルートはあるけれど、地域内を循環するバスを求め声も多くあります。

一方、道路行政の課題として定時性の確保が難しいこと。また、民間会社にとっては採算性の問題もあります。

これからのバス運行のあり方

今後に向けては、小型車両を用いて地域内をきめ細やかに循環させたり、地域の公共財として現時点では利用しない住民も何らかの形で支えていくことなど、新たな仕組みを作り出すことも必要ではないでしょうか。もちろん、公的な支援体制をしっかりとらせることは言うまでもありません。

千葉市都市計画道路の見直しについて 第2弾



前回の街づくり通信で塩田町誉田町線及び越智町土気町線について取り上げたところ、多くの方々からご意見をいただきました。この計画道路を必要なしとお答えいただいた方のコメントの多くは、「市の財政状況を考えると道路建設は必要ない」というものでした。また、道路建設を希望するご意見もたくさんいただき、その理由の多くが、「外房有料道路の誉田区間が無料化されても、誉田ICから土気地区の間の渋滞がひどい状況」というものでした。そこで、市民ネットワークみどりでは、道路ウォッチングに出かけ、この計画道路のポイントを見て廻りました。右の地図上に、ウォッチングの報告と市の見解をプロットしてみました。

検証し直す時期では!?

結果から、現在行っている誉田区間より優先的に行うべきは、越智町土気町線の越智工区だったのではないかと感じました。しかし、越智町のはなみずき団地内に出来ている道路は今や住民の憩いの場になっている実態もあります。

市の財政、緑の保全、生活者の要望など様々な観点から検証しなおしてみる時期ではないでしょうか？このままではこの道路が出来上がるのはいつになるかわかりません。外房有料道路の全線無料化にも市の財政負担があります。将来的にみどりの方法がよいのか、一緒に探っていきませんか？今後、多くの皆さんからのご意見をお待ちしております。今年計画に基づき事業を進めていますが、その計画に市民の声を

今回、皆さんから寄せられたアンケートと実際に視察した結果から、現在行っている誉田区間より優先的に行うべきは、越智町土気町線の越智工区だったのではないかと感じました。しかし、越智町のはなみずき団地内に出来ている道路は今や住民の憩いの場になっている実態もあります。

市の答弁では、「塩田町誉田町線(誉田区間)については、事業認定期間を延長し(当初はH25年に終了予定)、引き続き用地買収を進めていく。事業化未定期間については、千葉市第2次5カ年計画の見直しにおいて先送りしている。このため、当面の対策として千葉大網街道の交差点改良などを進めていく」となっています。

はなみずき団地内